第588号

主な記事

・歯科技工士会・衛生士会と懇談（1面）
・東北ブロック会議（1面）
・肺炎球菌ワクチン助成状況（2面）
・連載 食と健康⑪（2面）
・妊産婦医療費助成状況（3面）
・寄稿 調剤報酬改定の影響（4面）
・会員紹介シリーズ⑰ ごめんくなんしぇ（4面）

発行所
岩手県保険医協会
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通15－19
TEL 019-651-7341(代)
FAX 019-651-7374
発行人　小山田　榮　二
https://www.i-hoken-i.org
購読料　年2,400円（〒別）
会員の購読料は会費に含まれています。

6年ぶりに実現
歯科技工士会・歯科衛生士会と懇談

7月28日、アイーナで（一社）岩手県歯科技工士会・（一社）岩手県歯科衛生士会との懇談を開催。技工士会より河内京治会長、千葉拓郎副会長、衛生士会より大友さつき会長、千葉茂美副会長、冨手由歌里専務理事、当会からは小山田榮二会長、黒田康之、米持武美両副会長、外川正洋理事、事務局が出席しました。

懇談に先立ち、歯科技工士問題を取り上げた「MBS（毎日放送）NEWS」と「テレビ朝日『グッド！モーニング』」の動画を視聴し、当会が用意した資料も紹介しました。

地位向上と後継者不足が課題

歯科技工士関連では、養成学校の減少と後継者不足や高齢化、国家資格を持つ医療従事者として地位向上を求める必要があること、歯科医院との技工料金の価格交渉の難しさが話題となりました。

懇談のようす

浸潤麻酔行為について議論

歯科衛生士関連では、厚労省から通知があった歯科衛生士による浸潤麻酔の実施に向けた研修プログラムについて議論されました。

通知は歯科衛生士が浸潤麻酔行為を行うことを推奨するものではなく、現在、養成学校のカリキュラムに含まれていないため慎重な対応が求められること、万が一の場合、命に関わるため責任の所在や問題についてクリアにする必要があることが話題となりました。

技工士会と衛生士会では、高校生では既に進路が決まっている場合が多いため、小学校高学年から中学生へのアピールを重視し、リーフレットや県内すべての小学5年生に配布される「いわてのおしごと本2025」（岩手めんこいテレビ発行）で岩手県歯科医師会・技工士会・衛生士会で協力し、それぞれの仕事の魅力を掲載しアピールしたことが報告されました。

当会からは、コロナ禍以前に毎年実施していた「義歯ネーム入れと口腔ケア」事業について、後継事業として何か取り組めることがないか検討いただくこととしました。

6年ぶりの懇談は大変有意義なものとなりました。

世代間のギャップが課題
東北ブロック会議

7月20日、仙台で東北ブロック会議が行われ、保団連、東北各協会より計22名が参加し、当会からは小山田会長、米持副会長、事務局が出席しました。

会議は5月に理事長に選任された宮城協会の今田理事長のあいさつから始まりました。

中島保団連副会長より、6月の代議員会の報告があり、医院経営の厳しさから補助金や期中改定を求める声や、組織拡大や役員事務局の継承に関する発言が多かったことが述べられました。協議ではOTC類似薬の保険外しについて、依存性があるものが売られていることや薬物誘発性頭痛、自己判断での服用など、負担増以外の問題もあるなど、意見交換が行われました。

また医師に支持政党を聞いたアンケートでも1位が参政党という回答が多かったことが紹介され、世代間での政治認識のギャップを理解する必要があることなど、組織問題とも絡めて議論されました。

会議のようす

小山田会長からは、OTC問題はじめ一部野党も、今まで享受してきた社会保障を破壊する動きを明確にしているのに、選挙の争点が国民に浸透していないため、国民一体となった運動が提起されました。

今後の活動についても議論され、東北厚生局との懇談について、前回は対面での懇談について断りがあり要望書の内容の確認となったが、他のブロックと同様に対面での懇談を求める意見が相次ぎました。

活動交流では、2月以降の各協会の活動について報告され、当会からは行事予定の他、高額療養費の県議会請願、盛岡市健康保険課長への要請、新聞投稿などについて報告しました。

総会記念講演のご案内

脳科学者からみた、認知症のおはなし

「身近な人や自分が認知症になったとき知っておきたいこと」

講師：恩蔵絢子氏

NHKスペシャル「認知症の母と脳科学者の私」
2023年1月7日放送

日時：10月26日（日）
14：00～16：00
会場：エスポワールいわて

案内チラシを5枚同封しております。
患者さんへのご案内よろしくお願いします。

鍼（はり）のひびき

庭の北側にケヤキが3本そびえていた。芽吹き、風にそよぐ音、涼しい木陰、虫、鳥、小動物、紅葉、落葉・・・様々な表情を見せてくれた。

40年前は径10㎝に満たない幼木が、今では自宅はおろか隣家までをも覆いつくさんとしていた。

秋、落葉の量が半端ではない、掃いても掃いても周囲からの苦情は絶えない。その都度の言い逃れは限界に達し、引導を渡すしか選択肢はなかった。

そして、その朝チェーンソーは鋭く響き、ケヤキは悲鳴を上げ、泣いているかの様だった。正視できない。遠くからゴメン、ゴメンと手を合わせるしかなかった。

それから数年・・・不思議な事が起こり始めた。遺木の落とした種が発芽している、それは年毎に数を増している。

落ちた種は一斉に発芽するものではないのか、それに遺木が居た頃こんなに多く発芽することもなかったのに。推理～妄想がふくらむ・・・つまり、遺木が健在の頃は、それほど子孫を増やすことは無い。種がどんどん発芽すれば共倒れにもなる。

しかし、我々3本が突然姿を消した・・・。これはこの世にとてつもない災禍が発生しているに違いない。もし一斉に発芽したら一斉に全滅してしまう。ここは時間差で発芽し様子を見て、大丈夫だったら徐々に発芽する数も増やしていこう・・・と。

現存する地球上の生物種は、気の遠くなるような億単位の歳月に進化をくり返し、それ故に環境に適合し生き延びてきた。ヒトだってつい最近も、アメリカ同時多発テロ9・11、三陸津波3・11・・・その後の出生率が上昇したではないか。

最近、植物にも意思があり、他種ともコミュニケーションをとっている等の研究報告も相次いでいる。ケヤキも、これ位の事はするのだろう。ケヤキは負けないで、くじけないで、賢くあれ・・・と教えてくれているようだ。

やったこともない盆栽にするべく、机上にちっぽけな幼木が数本居る。幹は上方で分岐し、その姿は既に大木の片鱗を見せている。

（佐渡　豊）

■　税務調査、個別指導、保健所の立入検査の連絡があった際は、お早めに協会にご相談ください。（TEL019-651-7341）

2自治体が任意助成継続
肺炎球菌ワクチン

当会は、県内の自治体に対し、予防接種について約2年ぶりにアンケートを行いました。成人向け肺炎球菌ワクチンについてお知らせします。

国では、助成開始時の経過措置（65歳の方と70、75、80、85、90、95、100歳の方）が昨年3月に廃止され、65歳の方と、60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害がある方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方が対象となりました。

宮古市の任意接種助成終了により、独自の助成をしている自治体は、2023年の3自治体から2自治体に減少しています。野田村では66歳以上の方も対象で、九戸村は前回接種から5年以上経過した方も対象です。普代村では引き続き接種費用の全額助成が継続されています（表1）。

肺炎は日本人の死因の中でも上位であり、原因の一つである肺炎球菌の予防接種は、肺炎の重症化を防ぐ上で高齢者に対して重要です。助成を充実させていくことが求められます。

【表1】成人用（高齢者用）肺炎球菌ワクチン

太枠は任意接種の助成がある自治体

	市町村名	助成額	自己負担	個別通知	任意接種助成
1	盛岡市	5,980円（非課税・生保世帯 全額）	2,800円	×	なし
2	宮古市	3,000円（非課税・生保世帯　上限8,000円）	医療機関による	○	なし
3	大船渡市	5,000円	医療機関による	○	なし
4	花巻市	5,380円（生保世帯8,380円）	3,000円（生保なし） 医療機関による※1	○	なし
5	北上市	4,302円（生保世帯8,302円）	4,000円	○	なし
6	久慈市	4,000円	医療機関による	○	なし
7	遠野市	5,000円	医療機関による	○	なし
8	一関市	4,000円	医療機関による	○	なし
9	陸前高田市	5,000円	医療機関による	○	なし
10	釜石市	4,426円	4,000円	○	なし
11	二戸市	4,000円（生保世帯は全額）	医療機関による	○	なし
12	八幡平市	4,000円	医療機関による	○	なし
13	奥州市	4,280円	4,000円	○	なし
14	滝沢市	5,000円（生保世帯9,400円）	医療機関による	○	なし
15	雫石町	4,230円	4,230円（委託医療機関） 医療機関による（上記以外）	○	なし
16	葛巻町	6,000円	医療機関による	×	なし
17	岩手町	5,000円	医療機関による	○	なし
18	紫波町	5,000円	医療機関による	○	なし
19	矢巾町	5,000円	医療機関による	○	なし
20	西和賀町	接種費用の3分の1（100円未満切捨て、上限3,000円）	医療機関による	○	なし
21	金ヶ崎町	4,280円（非課税・生保世帯8,280円）	4,000円	○	なし
22	平泉町	4,000円	医療機関による	○	なし
23	住田町	5,000円	医療機関による	○	なし
24	大槌町	4,261円	4,000円 医療機関による	○	なし
25	山田町	4,000円（生保世帯8,200円）	医療機関による	○	なし
26	岩泉町	接種料金から3,000円を引いた額	3,000円	○	なし
27	田野畑村	8,369円	医療機関による	○	なし
28	普代村	全額	なし	○	なし
29	軽米町	4,000円	医療機関による	○	なし
30	野田村	5,000円	医療機関による	×	**あり**※2
31	九戸村	4,000円	医療機関による	○	**あり**※3
32	洋野町	4,000円（生保世帯は全額）	医療機関による	○	なし
33	一戸町	5,000円	医療機関による	○	なし

※1　花巻市：一般の方が市外で接種の場合
※2　野田村：66歳以上の方も対象
※3　九戸村：65歳以上で前回接種から5年以上経過している方も対象

連載

食と健康
私たちの食べているものは安全か―
◎食の安全⑪　食品表示は私たちの権利
原料原産地表示と遺伝子組み換え表示をめぐって

農民運動全国連合会（農民連）新聞「農民」編集長　勝又真史

食品表示は消費者の権利の一つである、知る権利、選ぶ権利を行使する最も大切な手段です。食品衛生法、JAS法などに分かれていた食品表示関係法令は、食品表示法（2015年施行）に一元化され、消費者庁の所管になりました。食品表示法には基本理念として情報提供など消費者の権利の尊重がうたわれていますが、「事業者への配慮」も重視されています。

原産地がわからない
原料原産地表示

いま焦点になっているのが原料原産地表示です。原料原産地表示はJAS法で一部食品のみに規定されていましたが、食品表示一元化を機に、全加工食品（輸入食品を除く）が対象になりました。

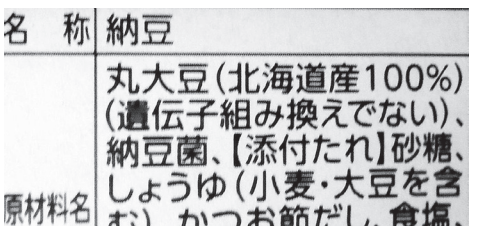
原料原産地表示は原則、国別重量順表示です。（表示する原産地が2以上ある場合には、製品に占める重量割合の高いものから順に国名を表示。3以上の場合には、3ヵ国目以降は「その他」と表示することもできる）例：小麦（アメリカ、カナダ）

業界側の意向を受け、国別重量順表示が困難な場合には、「又は表示」「大括り表示」を行うこともできます。

「又は表示」とは、可能性のある国を使用が見込まれる順に表示するもの。例：小麦（米国又はカナダ）

大括り表示とは、3ヵ国以上から輸入の場合は「輸入」と表示できるもので、どこの国からの輸入かわかりません。例：小麦（輸入）

対象原材料が加工原材料である場合は、製造地表示を基本とします。中間原料の製造地を表示するもので、原産地は表示されません。例：原料小麦粉（国内製造）



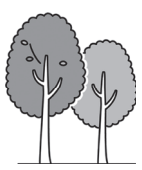
見ることが少なくなった「遺伝子組み換えでない」

消えつつある
遺伝子組み換え表示

いま、遺伝子組み換え表示義務のある農作物は、大豆、トウモロコシ、ジャガイモ、ナタネなど9作物とその加工品です。

いままでの遺伝子組み換え表示は遺伝子組み換え原料の混入が5%超で重量割合が上位3位以内、DNAやたん白質が検出可能なものに限られていました。従って、食用油やしょうゆなどの多くの食品は表示対象外でした。

ところが、2023年4月から、大豆とトウモロコシをはじめ他の農作物についても、任意表示である「遺伝子組み換えでない」表示が認められる条件を「5%以下」から「不検出」（0%＝検出限界以下）のときだけとされ、「遺伝子組み換えでない」と表示される食品は激減しています。中には「分別生産流通管理済み」「IPハンドリング済み」などという「遺伝子組み換え」の文字さえもない表示もあります。



秋の“会員紹介キャンペーン”のお知らせ

この度、当協会は、一人でも多くの先生方に入会して頂くために、前回の春の会員拡大月間に引き続き、秋の会員紹介キャンペーンを行います。

○ご協力頂いた先生には―

- 当会非会員へお声掛け→当会事務局員が訪問説明
  クオカードまたはカタログギフト（5,000円分）のいずれかを進呈（昨年より2,000円分増額）
- 非会員が入会した場合
  合計1万円分のクオカードまたはカタログギフトを進呈
- ご子弟さま入会の場合も対象

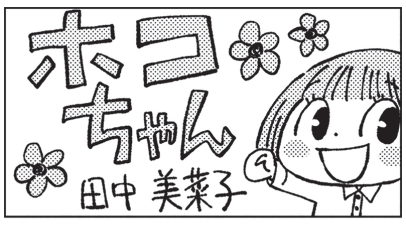
○新入会員の先生

最初の3ヵ月の会費は無料

期間

2025年9月1日～10月31日

ご協力いただける場合は、同封のチラシにてご返信お願いします。



自治体アンケート

妊産婦医療費 自己負担のない自治体が増加

当会は、4月中旬から5月下旬にかけて、県内すべての自治体に対して、妊産婦の医療費助成についてアンケートを行いました。

妊産婦医療費助成（表1）については、23自治体が所得制限なく助成を実施していて、うち12市町村が自己負担なく助成しています（岩手町、岩泉町が助成拡大）。自己負担のある自治体の中には県全体で助成している金額（通院1500円、入院5000円）の助成を強化し、通院750円、入院2500円としている市町村が4市町村あり（盛岡市、花巻市、遠野市、矢巾町）、盛岡市は妊娠8ヵ月目以降は所得制限なしとしています。

妊産婦歯科検診（表2）は、全ての市町村で所得制限なしで助成を行っています（対象期間中の助成は1回まで）。自己負担についても、盛岡市と野田村を除く全ての市町村で「負担なし」となっています。以前から助成していた葛巻町に加え、陸前高田市や軽米町でも妊産婦の配偶者も対象としています。

一関市は2023年度のアンケート結果から助成を拡大し、助成額が3810円から全額助成となりました。二戸市では助成期間が妊娠5ヵ月～6ヵ月となっていますが、最適なタイミングで受診できるよう、この期間内に受診してもらうようにしているとのことです。

国も産前・産後の支援事業を拡充していますが、依然として不十分なままです。安心して子育てできる環境をつくっていくためにも、支援・助成の拡充が求められます。

【表1】　妊産婦医療費助成事業詳細
（2025年5月現在・岩手県保険医協会調査）

○県基準　対象者：妊娠5ヵ月目の月の初日から、出産日の翌月末日までの方
所得制限：あり
自己負担：通院1,500円、入院5,000円（非課税世帯は負担なし）

※県基準と同様の助成をしている市町村は省略
※自己負担・所得制限なしとしているのは12市町村（36.4%）

市町村名		自己負担		所得制限
		通院	入院	
1	盛岡市	750円	2,500円	あり（8ヵ月目以降は制限なし）
2	宮古市	なし	なし	なし
4	花巻市	750円	2,500円	なし
7	遠野市	750円	2,500円	なし
8	一関市	なし	なし	なし
9	陸前高田市	なし	なし	あり
10	釜石市	なし	なし	なし
12	八幡平市	1,500円	5,000円	なし
13	奥州市	なし	なし	なし
15	雫石町	1,500円	5,000円	なし
16	葛巻町	なし	なし	なし
17	岩手町	なし	なし	なし
18	紫波町	1,500円	5,000円	なし
19	矢巾町	750円	2,500円	なし
20	西和賀町	1,500円	5,000円	なし
21	金ヶ崎町	1,500円	5,000円	なし
22	平泉町	なし	なし	なし
25	山田町	1,500円	5,000円	なし
26	岩泉町	なし	なし	なし
27	田野畑村	なし	なし	なし
28	普代村	1,500円	5,000円	なし
29	軽米町	なし	なし	なし
30	野田村	なし	なし	なし
31	九戸村	なし	なし	なし
32	洋野町	なし	なし	あり
33	一戸町	1,500円	5,000円	なし

【表2】　妊産婦歯科検診
（2025年7月現在・岩手県保険医協会調査）

市町村名		対象期間	自己負担	その他条件
1	盛岡市	妊娠中～産後1年以内まで	500円	
2	宮古市	妊婦～出産まで	なし	
3	大船渡市	母子手帳交付日～出産前日まで	なし	市内の歯科医院のみ現物給付
4	花巻市	妊娠届出後～妊娠期間中	なし	市内の歯科医院のみ
5	北上市	母子手帳交付日～出産予定日の1ヵ月前まで	なし	市内の歯科医院のみ
6	久慈市	受診票交付～出産前まで	なし	
7	遠野市	妊娠届出日～出産予定日まで	なし	
8	一関市	妊娠初期～産前まで	なし	
9	陸前高田市	妊産婦とその夫 妊娠2ヵ月～出産日よりおおむね1年まで	なし	
10	釜石市	妊娠16週～27週頃まで	なし	
11	二戸市	妊娠5ヵ月～6ヵ月まで	なし	
12	八幡平市	母子健康手帳発行日～出産前まで	なし	
13	奥州市	母子手帳交付～出産まで	なし	出産予定日が2025年11月以降の者から対象
14	滝沢市	妊娠5ヵ月～産後1年の前日まで	なし	滝沢市内指定医療機関のみ
15	雫石町	14週から28週未満	なし	治療中の方は対象外
16	葛巻町	妊産婦とその配偶者 母子手帳交付～出産予定日まで	なし	（妊産婦に限り入院等の事情で受診できない時は子どもが6ヵ月に達するまで対象）
17	岩手町	妊娠5ヵ月～7ヵ月まで	なし	
18	紫波町	妊娠中であればいつでも	なし	
19	矢巾町	妊娠5ヵ月～出産後1年に達する日の前日	なし	町内指定歯科医院のみ
20	西和賀町	健診票交付日～出産予定日の3ヵ月前まで	なし	
21	金ヶ崎町	母子手帳交付時～出産予定日の1ヵ月前まで	なし	1人につき年1回まで
22	平泉町	母子健康手帳交付日～産後1年まで	なし	全員へ交付するが受診は希望者のみ
23	住田町	妊婦	なし	
24	大槌町	母子手帳交付日～出産まで	なし	
25	山田町	妊娠届出～出産日の前日	なし	町内のみ
26	岩泉町	出産日まで	なし	町内契約歯科医院のみ
27	田野畑村	出産まで	なし	村内歯科診療所のみ
28	普代村	期間の定めなし	なし	
29	軽米町	妊婦及びパートナー 妊娠3ヵ月～出産まで	なし	
30	野田村	妊娠3ヵ月～出産まで	3,000円（上限）	
31	九戸村	妊娠してから出産前日まで	なし	
32	洋野町	0ヵ月～出産するまで	なし	
33	一戸町	妊娠中～産後1年未満まで	なし	二戸管内の歯科医療機関 上記以外は要申請

保険医年金のご案内

老後保障から急な資金需要に対応した自在性に富んだ制度です

予定利率アップ！
予定利率 1.225%

満74歳 まで加入可能

来年1月1日加入は
10/25まで

メリット

◆ 掛金は月払で1口1万円　通算で30口まで
一時払（1口50万円・毎回40口まで）もあります

◆ 資金が必要な時、1口単位から解約が可能
ご希望により1口単位で解約して、一時金として受け取り可能

◆ 年金受給時に受け取り方法を選択
満期は80歳ですが、いつからでも年金として受け取り可能
※積立期間が5年未満の場合は一括受け取りのみです

◆ 掛金の払い込み中断もできます
月払の払い込みが困難になれば掛金払い込みの中断もできます

◆ 万一の場合はご遺族が全額受給
年金または一時金として全額ご遺族が受け取れます

○ 一時金請求手続きには1週間ほどかかります
○ 中断後は中断利率（予定利率－0.3%）が適用されます
○ 月払の場合は4年（掛金未納がある場合は、未納状況により4年以上かかります）、一時払の場合は2年で元本が回復します
○ 本欄は制度概要の説明です。詳細はパンフレットを必ずご覧ください

パンフレットや申込希望の際は、協会までお問い合わせください
（TEL 019-651-7341）

寄稿

2024年診療報酬・介護報酬改定の影響について

一般社団法人岩手県薬剤師会　押切昌子

2024年の調剤報酬改定から1年が過ぎました。今回の改定では多職種連携について点数が拡大された一方、今年4月には薬価の中間改定も実施されました。そこで、調剤報酬改定の影響について、岩手県薬剤師会常務理事の押切昌子氏に寄稿いただきました。

昨年の診療報酬改定は、物価高騰・賃金上昇などへの対応、医療DXやイノベーションの推進、社会保障制度の安定・持続可能性の確保、医薬品の安定供給の必要性など医療を取り巻く環境の変化を踏まえた医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定となりました。

調剤報酬改定では在宅訪問および多職種との連携に関して評価が拡大されましたので、今後もさらに在宅医療が進むと考えています。医療機関等との連携では保険医療機関からの求めによる情報提供先に歯科医療機関が含まれることが明確化され、薬局では医師又は歯科医師に対して患者の重複薬剤やアレルギー情報に加えフレイルなどに関する情報提供なども行うことになります。そして2025年4月には日本薬剤師会が継続して反対している薬価の中間年改定が実施されました。薬局では薬価改定のたびに資産が一夜にして大きく目減りするという状況が続いており大変悩ましい問題となっています。

2020年12月に端を発した医薬品製造会社の問題は医薬品供給に多大な影響を与え、未だに入手困難な薬もあり、感染症流行時に必要な薬が入手できなかったことは記憶に新しいところです。

昨年厚生労働省は医薬品安定供給のためには薬局体制を構築する必要があるとの見解を示したことから、日本薬剤師会では各地域薬剤師会に「地域における薬局機能体制リスト」を作成し公表することを求めました。

このことを受け、岩手県薬剤師会では昨年6月にこのリストをHPで公表いたしました。内容は夜間・休日等対応のため開局時間・時間外対応の状況、在宅訪問を行う薬局や在宅業務に係る機能、感染症対応やオンライン服薬指導の実施可否、新型コロナウイルス抗原定性検査キットの取り扱い等に関して地域ごとにまとめたものです。

このリストは本来患者が薬局を選ぶためのツールでありますが、医療関係の方々が「地域における夜間・休日の医薬品供給対応薬局」および「在宅における服薬管理を行う薬局」を検索するために利用されており、行政などにも提供しています。

本会では今後もこのリストで最新の情報を提供できるよう継続的な更新を心掛け、地域医薬品提供体制の充実のために取り組んで参ります。

ごめんくなんしぇ

中村・北條クリニック 皮膚科・歯科・口腔外科（盛岡市）
副院長　北條　ますみ先生

会員紹介シリーズ㉗

北條 ますみ 先生

お父様が内科医だった北條先生。子どもの頃から医者になるのだろうと考えていましたが、医療について知っていく中で、口の中という小さな空間に血管や神経など様々なものが凝縮されていることが面白いと感じて歯科に興味を持ち、歯科医師となりました。岩手医科大学歯学部を卒業後、岩手医大口腔外科に12、3年程勤務した後、皮膚科医の旦那様と共に平成13年に開業しました。

皮膚科と歯科には共通する疾患（扁平苔癬など）があり、歯科治療で使う材料が原因となる疾患もあるため、旦那様から原因となりうる歯の治療を依頼されることもあります。一緒に診療しているため、金属アレルギーの疑いのある患者さんを診る時は医科的なアドバイスなどを聞くこともできます。

先生は平成23年に岩手県歯科医師会地域歯科保健委員会理事となった際、国の在宅医療推進事業に関わることになりました。国の在宅支援事業所のモデル事業を行うことになった医師が旦那様の友人だったこともあり、関わりやすいと当時の担当常務理事の先生からの勧めで在宅医療を多職種連携や研修会、そして現場（訪問歯科診療）も含め行うことになりました。

訪問診療は、一般的な診療室での治療とは違い寝たきりの患者さんや気管切開をして呼吸管理をしている患者さん、様々な基礎疾患を持つ患者さんがいます。居宅患者さんを訪問するとその患者さんの家庭環境や生活の状況を直に見ることができ、治療や家族への指導の参考になることも多くあり、とても勉強になるとのことでした。

切り絵

普段診療で心掛けていることは、医師であるお父様から教わった「患者さんである以前に一人の人間として誠心誠意の気持ちで接すること」、「子供でも大人でも関係なく言葉遣いを丁寧にすること」。

院内には、患者さんが作った作品が飾られています。先生は細かな作業や料理が好きで切り絵や水引細工を作ったことがあり、院内には切り絵も飾られていました。

味処 290

Cafe de Curry
KOJIKA
大船渡市

大船渡市で30年以上続くカレー屋、Kojikaには、盛町にある本店（カレーハウスKojika）と、大船渡町にある2号店（Cafe de Curry KOJIKA）があります。

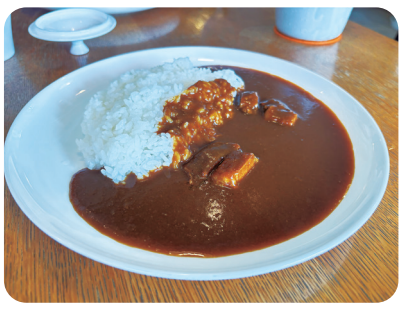
ポークカレー（935円）やエビカレー（1045円）、フルーツカレー（990円）など個性豊かなカレーの中から、一番人気のビーフカレー（935円）を注文。

カレーは中辛か辛口か激辛を選ぶことができます（激辛は＋50円。ポークカレーは甘口のみ）。またトッピングも16種類あり、オムレツやハンバーグ、ロースカツ、納豆など様々な組み合わせが楽しめるほか、ランチタイムに注文するとミニサラダも付きます。

ビーフカレー（中辛）には柔らかくほどよい歯ごたえの牛肉が入っていて、具材は控えめ。ルーに溶け込んだ玉ねぎのコクと旨味に、爽やかな辛みがあとを引きます。玉ねぎの甘みがあるので辛い食べ物が苦手な人でも美味しく食べられます。

ミニサラダにはフルーツのように爽やかで少し甘みのあるドレッシングとコショウがかかっていて、ドレッシングの甘みがコショウの辛みや香りとよく合います。

トッピングを組み合わせて様々な味わいを楽しめるカレーの他にも、パスタやサンドイッチなどがあり、何度来ても飽きずに楽しめるお店です。


ビーフカレー

ミニサラダ

住所	大船渡市大船渡町字野々田23-1
電話番号	0192-47-4777
営業時間	11：00～14：30 17：30～21：00
定休日	月曜日
駐車場	あり（店舗敷地内　12台）

常任理事会だより 7月

【日時】
2025年7月22日(火)
19：30～21：15

【場所】
盛岡フコク生命ビル会議室（ウェブ併用）

【出席者】
役員・事務局併せて24名

主な決定事項

1、2025年6月期活動報告並びに2025年7～8月期活動計画が承認された

2、マイナ保険証期限切れについて注意喚起するポスターを会員へ配布することが承認された

3、2025年～2026年度の専門部員について承認された

4、講演会の企画について承認された